

小海高等学校生活指導係発行

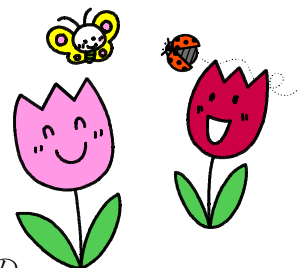
5月8日（金）服装・頭髪等身だしなみ指導が実施されます

2・3年生は4/3の始業式に服装・頭髪指導が行われ改善が進んだところです。前は体育館等の室内で行われましたが、今回は、昇降口の外で指導することになります。

さて、最近の生徒諸君の服装について感じられることですが、大半の生徒はほとんど問題なく、襟元、胸元、スラックスの裾等、きちっと着こなし、見るからに清^{すが}しい、感じの良い、好青年たちばかりで、頼もしく感じられます。特に3年生は立^{けん}派な姿の生徒たちばかりで嬉しくなります。具体的な夢の実現に向けて更なる研鑽を重ね、また、班活動に汗と血を流してきた諸君は、3年間の総まとめの時期でもありますね。

一方、入学1ヶ月の1年生諸君はどうでしょうか。

これまた、さすがに入学したてで、乱れは少ないと思いますが、若^{じやつかん}干^{かん}の女子生徒諸君の胸元のだらしなさ（Yシャツの第二ボタンまで開け、リボンをだらしなく垂らすように下げる）が見受けられます。是非とも気を引き締めてください。身なりを整えることで気も引き締まります。



さて、2年生ですが、高校生活のスタイルにも慣れて、余裕のある日常を送ることが出来る学年になりましたが、この時期が、いつになっても、どこの学校でも留意を要する学年であると認識されています。

中には、胸元の乱ればかりか、最近の流行なのかワイシャツの襟をブレザーの襟の外にはみ出させるような、（必然的に第二ボタンも外すことになる）格好の生徒がいました。が、始業式の時の指導で、ほとんど改善されました。

では、学校外ではどうでしょう。この点では、男子生徒も同じことで、学校外で腰パン、ハミシャツにだらだらネクタイでは、がっかりしてしまいます。

見てくれは、君たちが想像している以上に重要で、以前紹介した「人は見た目が9割」、（理屈はルックスに勝てない）、という題名の新書にも述べられている通り、その人が、どういう人かの、第一判断条件になるわけで、このことを心得ている人と、いない人では、差が付きます。言い方を変えれば、得をするか、損をするかということになります。「見てくれだけで判断するな」、とは教育的で良心的な教訓ですが、実際には他人はそこまで見えませんし、見ません。

「人は見た目で判断する。」 竹内一郎（人は見た目が9割の筆者）

寒暖の差に注意



五月になるのに、寒い日が続き、冷たい雨も降る日が多く、ともすると、風邪などの病気になりかねません。このような観点からも服装に気を配りましょう。